

# 「デジタル×5G活用セミナー」を開催 ‹‹四国発！デジタルの力で変わる、「地域の産業」「暮らし」「まち」の未来››

- 総務省四国総合通信局は、令和5年3月3日(金)に「デジタル×5G活用セミナー」を高松市内（ハイブリッド）で開催（共催：四国情報通信懇談会）し、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた総務省の取組をはじめ、四国において、工場、医療、移住促進等の分野で、5G等デジタルの力を活用した課題解決に取り組む方々から事例についてご紹介いただきました。
- 現地会場では、講師や事例の関係者とセミナー参加者との交流会を実施しました。
- 自治体、企業、経済団体・商工団体、医療機関、大学、国の機関等から、**現地・オンライン 計約160名**の参加がありました。

## ■ 基調講演 「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた総務省の取組」

総務省情報流通行政局 地域通信振興課長 折笠 史典から、デジタル基盤の整備とデジタル実装の推進に向けた総務省の取組（令和5年度地域デジタル基盤活用推進事業等）について説明しました。



## ■【事例紹介①】 工場分野／画像AI、スマートグラス 等 「地域共有型ローカル5GやAIを用いた中小企業、製造業のDXの取組」

株式会社愛媛CATV 技術・放送本部部長 秋月 平 氏から、中小企業等のDXの取組における導入コストや運用負担の障壁を下げるため、地域共有型ローカル5G（サブスク型サービス）や画像AIを用いた民間主導による汎用DXプラットフォームを提供するなど、民需で自走できる仕組みづくりとIoTの民主化を目指す、愛媛CATVにおける取組についてご紹介いただきました。



## ■【事例紹介②】 医療分野／高精細映像伝送 「徳島県におけるローカル5G、高精細映像伝送を活用した遠隔医療の取組」

徳島県 政策創造部地方創生局デジタルとくしま推進課長 木野内 敦 氏から、県が進めるローカル5Gや4K8K高精細映像伝送を活用した遠隔医療の取組や、新たな取組として県立病院等において整備を進める携帯電話事業者のキャリア5Gとアンテナ等を共有するインフラシェアリングの現状、総務省実証事業として進める「救急車との連携」等について進捗状況を紹介いただきました。



## ■【事例紹介③】 移住・観光等分野／メタバース、IoT 「香川県高松市男木島におけるデジタルを活用した離島の課題解決の取組」

有限会社ケヒ 代表取締役／NPO法人男木島生活研究所 代表 福井 大和 氏から、人口の3分の1が移住者である男木島において、子どもたちと高齢者いずれも地域から取り残すことなく、両方の課題を解決するためにデジタル技術を活用し、将来的にも人口100人程度が暮らし続け、デジタルを介した関係人口の増加も目指す、進行中の取組についてご紹介いただきました。



＜上：講演・事例紹介の様子 下：交流会の様子＞

## ■ 参加者の声（アンケートより）

- ・四国の製造業、医療等において5Gがどのように活用されているのか、導入の難易度について知ることができた。
- ・ローカル5Gの活かしどころがよく理解できた。
- ・各分野の具体的な事例を伺って、まずは課題を明らかにしていくことの大切さを感じた。
- ・実証について、技術面だけでなく、現場の声を吸い上げ、次の方向性もしっかり考えておられる点がすばらしい。